

議員全員協議会の概要

市長要請による議員全員協議会が12月17日に行われ、「三原市人権教育・啓発推進計画の改定について」ほか4件の説明があり、質疑応答が行われました。

※議員全員協議会とは・・・市から提出された議案を審査する委員会とは違い、市が行政上の重要課題等について、議会の意見を聴くための協議会のこと。

三原市人権教育・啓発推進計画改定について

【概要】平成17年に策定以後、さまざまな法律の施行や改定に基づき、人権啓発に関する施策を総合的、効果的に推進するため、新たな項目として、インターネット上での人権侵害、※LGBTに対する人権侵害を加え現在の状況に合わせた計画とする。

※LGBTとは、性的少数者を指す言葉。

【問】 インターネットによる人権侵害について、メディア・リテラシーの教育が必要と考えるが、取り組みについて問う。

【答】 インターネットの使い方について、子どもに對してだけでなく、大人に對しても良く理解してもらうために講演会など様々な機会を通して啓発

していききたい。

【問】 性的指向と性自認について、性の多様性が認められてきている社会において、LGBTを理解する具体的な事例としてトイレなど性別に分かれて入らなければならない場所を、どう位置付けるか、表示のあり方などについて本市はどのように推進していくのか問う。

【答】 現在、施設を建設する際の共用トイレの状況についてチェックできていない。庁内の人権行政推進協議会で、LGBTについて協議検討し、意識統一を図っていききたい。

ペアシティ三原西館再編について

【概要】 中心市街地内の公共施設の再編先として次のとおり活用（案）を提示する。

1階 民間店舗等の誘致を促進する。民間活用が決まるまでは、現状維持。

2階 児童館を移設。大規模会議を行える機能を整える。

3階 乳幼児健診、障害者生活支援、発達支援相談機能は維持。老人大学を移設し、生涯学習機能を強化する。

4階 2階のまちづくり活動ルーム機能を移設。貸室機能を強化する。

【問】 大規模会議室は福祉会館の大ホール定員150名の代替えになるか。

【答】 福祉会館は275㎡で、西館は390㎡ある。

【問】 東館跡地と一体利用として駐車場とのアクセスについて問う。

【答】 東館駐車場からのアクセス向上について検討したい。

しているがどう整備するのか問う。

【答】 カリーフトは費用対効果を踏まえながら、更新について検討する。

【問】 西館は、耐震化しているが、耐用年数はどのくらいかを問う。

【答】 コンクリートの劣化診断では劣化は進んでない。できるだけ長い期間利用したい。

ニュージラード パーマストン・ノース市との姉妹都市提携について

【概要】 市の国際化を進めるためには、市民や企業等の国際感覚や多文化共生の意識醸成、人材育成等の環境整備が重要と考えている。パーマストン・ノース市との友好交流を通じた環境づくりを進めるため、本年3月に姉妹都市提携を締結する。

【問】 費用は。交流のメリットは。

【答】 具体的費用は整理できているが、よく精査し、必要な連携について支出していく。この提携により「教育」「文化」「危機管理」「経済」等の様々な分野で、市にとってよりよいものとなるよう取り組む。

【問】 学校空調設備整備PFI導入可能性調査の進捗状況について

【答】 市が直接実施する場合とPFI方式の場合、それぞれの事業費はどの程度見込んでいるか。

【問】 現時点での対象教室数の総面積で算定したところ、設計・施行管理・13年分の維持管理費を含めた事業費概算総額は、直接実施で約18億8千万程度、PFI方式で約17億8千万程度を見込んでいる。

【問】 対象として考えている教室はどこか。また理科教室は含まれているのか。

【答】 普通教室に加え、児童生徒の体調管理を考慮する保健室、学習の基礎を支える図書室、温度管理が必要なコンピュータ室、職員室等を考えている。さらに耐用年数がくる機器の更新を優先させたい。

【問】 平成32年9月の稼働は、予定どおりいくのか。

【答】 期待している日程案のとおり早期の業務発注ができれば、予定どおりの工程進行により、32年9月の供用開始は可能と考えている。

高坂自然休養村基本計画事業の実施状況について

【概要】 ①管理センター機能改善・改修予算3660万円（トイレ、食堂、厨房、多目的室、その他）

②南部エリアの機能変更

③運営主体「高坂観光協会」から「もみじの郷」へ

④地域おこし協力隊員配置

⑤農村広場の拡張検討
紅葉シーズンの駐車場有料化

⑥道路改良

【問】 地域の活性化につながるのか。

【答】 まず市民に活用してもらい、ぶどう、ワイン、そば打ち道場、飲食店を活用し、市外に広げたい。